

【事例】 歩行者用散策路としての活用を考慮した管理用通路の整備

社会資本の概要

【所在地】 福井県福井市安波賀町～西新町
 【社会資本の種類】 河川
 【社会資本の名称(事業名)】 一乗谷川(一乗谷川水辺空間再生事業)
 【事業主体】 福井市
 【供用予定時期】 2012年

配慮の概要

水辺空間環境整備事業において、史跡巡りのための歩行者用散策路として活用できるよう、遊歩道を兼ねたものとして管理用通路を整備している。

位置図



施設の状況写真



一乗谷川の両岸で復元されている戦国時代の史跡群。



整備された河川管理用道路。

観光との関わり	<p>○戦国時代の史跡を洪水から守る河川改修</p> <p>福井市東南部の一乗谷地区は、戦国武将・朝倉氏ゆかりの地である。1967 年より城下町跡を中心に発掘調査が行われ、1971 年には山城跡を含めた約 278ha が「一乗谷朝倉氏遺跡」として国の特別史跡に指定された。</p> <p>一方、この地域の中心を流れる一乗谷川は治水安全度が極めて低く、今までたびたび豪雨による洪水被害をもたらしていた。そこで福井県は、史跡や民家を洪水被害から守るために「広域基幹河川改修事業」に着手し、1988 年より一乗谷川の整備が開始された。</p> <p>○「越前一乗谷戦国ロマン再生計画」</p> <p>同じく 1988 年には、遺跡を中心とする歴史的・文化的景観にマッチした水辺空間の創出を目的に「ふるさとの川整備事業」が開始され、一乗谷川の河川改修事業と合わせて中世朝倉遺跡の歴史的景観と調和した河川整備が行われている。さらに 2004 年には、豪雨による洪水被害を受け観光客数が減少するなどしたため、地域再生計画として「越前一乗谷戦国ロマン再生計画」が策定され、「戦国の川再現」をめざした史跡公園と河川改修の一体整備により、多自然型治水対策が進められている。</p> <p>○現在も発掘・整備が進む福井の歴史的観光地</p> <p>「一乗谷朝倉氏遺跡」では現在も発掘・整備が進められており、特に領主館から川向の武家屋敷跡では家屋の復元も行われ、この地域は福井県を代表する観光地となっている。毎年、拠点地区を会場とする「越前朝倉戦国まつり」の効果もあり、年間 24 万人の観光客が訪れている。</p>
配慮事項	<p>○河川改修整備における観光客の利便性に配慮</p> <p>福井市は 2004 年より「ふるさとの川整備事業」の一環として、河川公園等の水辺空間環境整備の推進を目的に「一乗谷川水辺空間再生事業」を実施している。この事業では、徒歩で訪れる観光客の利便性を向上させるため歩行者用通路として活用できるよう、遊歩道を兼ねた管理用通路として整備している。</p> <p>歩行者用通路の幅は 3m で、現在までに段階的に延べ 1,040m が整備されており、将来的には総延長 2,300m となる。また整備は、自然環境に配慮した透水性舗装で実施されており、一乗谷川に点在する史跡をつなぐアクセスロードの一部として、史跡公園歩行ネットワークを形成するために活用されている。</p>
その他の工夫等	<p>○河川改修整備における景観作りに対する配慮</p> <p>「ふるさとの川整備事業」にあたっては、発掘・復元された文化財と調和した水辺空間を目指し、発掘された遺跡の一部(石垣)を河川の護岸の材料として堤防の緩傾斜化を図るなど、歴史的景観作りには配慮している。整備された石垣による緩傾斜護岸は小中学校のハイキングコースになっており、水に親しめる空間となっている。</p> <p>なお、近年は下流部の整備に着手しており、発掘される石垣の量も激減したことから、石垣の色と質感が酷似した近隣地区の自然石を使用して護岸整備を行っている。</p>
連絡先	<p>福井県土木部河川課 TEL:0776-20-0480 http://www.pref.fukui.jp/doc/kasen/index.html</p>
関連ホームページ	<p>福井市建設部河川課 http://www.city.fukui.lg.jp/d380/kasen/index.html</p>